

# 歴史を受け継ぐ



田辺 眞人さん

園田学園女子大学名誉教授。兵庫県の文化賞をはじめ多数の表彰を受けるなど、地域史研究で活躍され、三田市制施行60周年事業検討委員会委員や三田ビール検定の監修などにご尽力いただいている。

田辺 三田市ができて60年。これをひとつの区切りとして三田のあゆみを振り返り、これからのまちづくりを考えることは大変有意義なことだと思えます。まちづくりはこれまでの発展の延長線上にあり、過去のまちづくりを無視できないからです。また、市民の皆さんに歴史を知ってもらうことは、まちへの愛着や誇りを育んだり、問題を解く上でも大変重要であると思えます。

金子 そうですね。私は幕末から明治維新の時代に、日本人で初めてビール醸造の研究をした川本幸民に注目しました。前例のないことにトライした彼の行動はまさにイノベーション（革新）と呼べるのではないのでしょうか。三田からは川本幸民のほか白洲退蔵や小寺泰次郎など、現在に語りつがれる人物を輩出しています。当時の三田はどのようなまちだったのでしょうか。

田辺 三田にとって成長から成熟のまちへの転換は非常に大事なことです。木に例えると、成長期には、葉や実（人口など）で表せるもの（数）が増え、あるときが来れば葉は落ちます。葉が落ちるまでに、いかに実を成熟（数で表せない質の向上を）させておくかがポイントではないでしょうか。そういう意味では、市制施行60年を迎えた今のうちに、三田のまちづくりを成長から成熟へと転換させ、まちの質を高める時期にあると思えます。私は、成熟したまちを創るためには、市民一人一人が責任感を持ち、まちづくりに関わるのが重要だと思えます。

森 今、三田のまちづくりに必要なことは、幕末から明治維新の三田にあった、慣習にとらわれず新しいことに取り組む姿勢、いわゆる「進取の精神」であると確信しています。私たちは、三田の歴史や特色に自信を持ち未来の三田へと伝えるとともに、ここから三田の新しい物語を市民の皆さんと一緒に創っていきたくと考えています。



平成 30 年度に、市制施行 60 周年と明治維新から 150 年の節目の年を迎えます。60 年＝還暦には、干支が生まれ年に戻る「第二の誕生」という意味が込められています。この節目の年を契機として、本市は「成長から成熟のまち」へと生まれ変わろうとしています。今回は、三田の歴史を振り返るとともに、「成熟したまち」に必要なことは何かをお話いただきました。

# 学びの都の魅力

三田市地域創生アドバイザー。ニューメキシコ大学の技術移転&経済開発事務所の大学ベンチャー&国際事業マネージャーとして多分野で活躍されている。

星 エリさん



金子 今、再び川本幸民のような人物を輩出するために必要なことは何だと思われませんか。

田辺 川本幸民が世に名を馳せたのは、本人の資質もありますが、彼の周辺には漢学者や本草学者が身近にいる学びに適した環境、いわゆる「考える力」を育成する場が整っていたことも大きく影響したと思えます。

森 今回、教育環境を充実させるためにも、子ども医療費の無償化を一部見直すことに決めました。子ども医療費の一部を負担いただき、その財源を子どもたちの教育に使うことで、三田の教育環境を充実させたいと考えています。社会で活躍できる人材を輩出し、三田のまちにはさまざまな分野で活躍できる人材が豊富であるということアピールできれば、企業も集まってくると思えます。

金子 そうですね。まちを活性化するためには、しっかりと経済基盤があることが大切だと私は思います。

星 若者は人が集まる場所や仕事のあるところに住みたいと思っています。そのためにもいきがい応援プログラムの人材バンクを活用して、シニアと若者のマッチングを行ってはいかがでしょうか。例えば、休日や夜間に気軽に参加できるセミナーがあれば若者も参加しやすいと思えます。

森 若者には、本人も気が付いていない能力や才能が眠っていると思います。人材こそが三田の宝となるの思いから、人材育成に先行投資したいと考えています。私は「子どもの夢を育てるまち」、人材育成を通じて「地域の元気を育むまち」という新たな魅力を創りあげたいと考えています。

国民年金基金 国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。\*非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせは お気軽に今すぐこちらへ! \*地域によっては携帯電話からはつながらない場合があります。

詳しい情報はホームページでもご覧いただけます。 兵庫県国民年金基金 検索

兵庫県国民年金基金 資料請求・ご相談・お問い合わせ 0120-65-4192 月～金 9:00～17:00

ゆとりのある人生を。 今にゆとり 老後にゆとり

わたしも入っています。 優香